

2025 年 7 月 30 日
日本船主協会 企画部広報室

「海の日記念行事 2025」にて
市岡元気先生のサイエンスライブを実施
～海事産業について楽しみながら学ぶ～

当協会では、日本の暮らしと産業を支える海運をはじめとする海事産業の重要性や魅力を、広く一般の皆様にご知っていただくため、全国各地で広報活動をおこなっております。

今年、制定から 30 周年を迎える「海の日」の 7 月 21 日（月・祝）に、内閣府総合海洋政策本部・国土交通省・日本財団の共催で「海の日記念行事 2025^{*1}」が東京国際クルーズターミナル（東京都江東区）において開催されました。

当日は秋篠宮皇嗣同妃両殿下ご臨席のもと、開会式および海洋立国推進功労者表彰式が行われ、当協会からは長澤会長、加藤常勤副会長、篠原理事長らが出席しました。開会式では、長澤会長（日本郵船会長）、橋本副会長（商船三井社長）、明珍副会長（川崎汽船会長）および篠原理事長が登壇し、日本の外航海運業界による独立行政法人海技教育機構（JMETS）への練習船寄贈に向けた検討開始について発表しました。（詳細は[こちら](#)）

当協会は、GENKI LABO より市岡元気先生^{*2}をお迎えして、船にちなんだサイエンスライブを 3 階ステージで実施しました。これに加え、小中学校の教員を対象とした自動車船の見学会を実施したほか、ミニブースではノベルティグッズ/資料を配布しましたので、その模様をお知らせします。

【市岡元気先生のサイエンスライブ】

日本を代表する科学系 YouTuber、GENKI LABO の市岡元気先生と、同 GENKI LABO のおがちゃんが登場し、船にちなんだ風力、浮力、重心の実験のほか、エアバズーカや液体窒素を用いた実験も披露しました。



（左）市岡元気先生



（右）おがちゃん

サイエンスライブの開始前には、当協会の制作した「“開運”じゃなくて、“海運”です。」ラップのリリック動画を放映しました。会場内の大勢の方がスクリーンを見上げ、ラップにあわせて踊る子供の姿も見られました。

船の模型を使った実験では、帆の面積が大きくなるほど、風の力を受けて前に進みやすくなることを学びました。金属板、プレート、鉄球を水に浮かべる実験では、同じ金属でも形を工夫することで、物体の重量と浮力が釣り合って、水に浮くことを実演し、船が浮く原理を解説しました。



(左) 船の模型を使った風力の実験



(右) 金属板は、水槽に入ると沈んでしまう

ステンレスのコップを水に浮かべる実験では、「どうすればコップは安定して浮かぶか」というクイズに、参加した子供たちは大きな声で元気よく手を挙げ、「中に水を入れる」と正解を出した子供には、GENKI LABO グッズがプレゼントされました。クイズの後には、コップに水を入れることで、重心が低くなって安定することを実演し、実は荷物を積んでいない船の重心を安定させるためにも、水（バラスト水）が使われていることが紹介されました。



(左) クイズで盛り上がる会場の様子



(右) 水を入れると安定して浮くコップ

液体窒素を用いた実験では、「気体は、冷やすと液体になって体積が小さくなる」ことを学びました。風船を液体窒素の中につけるとしぼんで、液体窒素から出すと元通りになることを実験で見せた後、LNG 船も同じ科学を利用して、天然ガスを冷やして「液化天然ガス」にすると、体積が小さくなり、一度により多くの量を運搬できることを紹介しました。ライブの最後には、液体窒素にお湯を入れる実験を行い、お湯を入れた瞬間、雲が一気に空中高く吹き上がる様子を、会場からは歓声と拍手が起きました。

ステージを観た子どもたちは、船と海運にはたくさんの科学が活用されていることを知り、興味を持ってくれた様子でした。サイエンスライブは子供から大人まで約 450 名が訪れ、大盛況のうちに終了しました。



(左) 気体の液化を例に、LNG 船の大量輸送の秘密を解説



(右) お湯を液体窒素に入れた様子

【教員向け自動車船見学会】

昨年に引き続き、商船三井の協力のもと、小中学校の教員 23 名を対象に自動車船「CELESTE ACE」の船内見学会を実施しました。全長約 200m・幅約 38m の巨大な新造船に乗り込み、ブリッジ（船橋）や船内居住区エリア、船倉（貨物スペース）での車の積み付けデモンストレーション等を見学した教員からは、「生活スペースも見学させていただいたので航海中の船員の生活もイメージすることが出来た」「自分が体験したことによって、生徒にもより詳しく説明出来る。次は生徒たちにも見学させたい」等の声が聞かれました。



(上段左) 船倉に積まれている自動車

(上段右) 船長からブリッジ（船橋）の機器について説明を受ける参加者

(下段) 船尾のランプウェイから乗船

【ミニブースでの資料配布】

この他、ミニブースでは、各種資料やノベルティ等も配布し、海運をはじめとする海事産業の周知に努めました。



当協会は、今後も海事関連団体と連携しながら、海事関連イベント等への参加^{※3}を通じ、教育の場を含め、より多くの皆様への海事産業の重要性の周知・普及に取り組んでまいります。

※1 海の日記念行事 2025 URL

<https://c2sea.go.jp/uminohi2025/>

※2 「元気先生」の愛称で親しまれ、日本を代表する科学系 YouTuber の 1 人として TV や舞台、様々な YouTuber の実験監修などマルチに活躍中。東京大学未来ビジョン研究センター客員研究員でもあり、国とも連携し多くの実験動画を制作。子供から親、教育者まで幅広い支持を得ており、「音楽のライブのように実験を楽しむ」をコンセプトに全国各地でサイエンスライブを開催中。

「GENKI LABO」公式サイト URL <https://sciencegenki.com/>

※3 当協会 HP にて海事イベントへの出展や体験航海等の情報を掲載しています。

<https://www.jsanet.or.jp/kaiun/MarineDay/#section3>

以上